

# San-ai



三愛会会誌 1959 NO. 24



# 青年社員諸君に

市村清

## 正しいことを勇敢に

三十代は男女を問わず、肉体的には勿論、精神力に於ても、智能力に於ても、もつとも充実している時代である。

おそらく三十代の処し方で、人生の勝敗浮沈がきまるといっても過言ではあるまい。

また、万が一失敗したとしても、再起できるという強味をもっている。失敗を基にして、成功への道を切り開くことができるのである。

そこで私は、三十代には、自分の信念に向って、右顧左眄することなく、一路邁進することが望ましいと思う。

論語に、三十にして立つという言葉があるが、その通りであると考へる。

三十代を酔生夢死に過してしまふなら、敗残者の運命を辿るのである。上司に対し、同僚に対し、また下に対して、正しいと思うこと、善なりと信ずることを、勇敢に実行すべきである。

そのために、あるいは、上司からは生意気だと思われ、同僚からは憎しみをかっても、すくなくとも下の者の信頼を受けるにちがいない。

三十代で、上司にも同僚にも憎まれまいとして、八方美人になるようでは、なにひとつできるものではない。

なかには、（い）や、そうではない、三十代は、もつとも大切な時期だから、誰からも憎まれないで、穏便な世渡りをすべきだと主張するものもあるだろうが、そのような世故にたけた才子の言葉には耳をかたむける必要はない。

よく、三十代で老成してしまっている人間をみかけるが、そのような人物は、決して将来大をなすものではない。

三十代には、あちらに頭をぶっつけ、こちらに体をぶっつけたりしながら、大いにもまれていくべきである。

そうしてこそ、自然に、磨かれた珠玉のような人間ができていくのである。

どだい、三十代に円熟した人物にならうとしたって無理である。

そういう意味で、三十代は未完成であっていい。小さく、自分を固めなくてもいいのである。

この時代には、ことなかれ主義を絶対に排斥すべきである。以上は、サラリーマンについて述べたのであるが、これが経営者の場合には、一層つよく云えると思う。

## ただ前進あるのみ

ここで、私の三十代を回顧してみよう。私は、三十歳のとき福岡で、理研の感光紙の代理店の店主として、新しい一步を踏

み出した。文字通りの、徒手空拳であった。

代理店の権利金を払い、開店の諸雑費の払いをすませると、翌月の生活費にもこと欠くほどであった。

さらに、私には、何の背景もない。たよれるのは自分だけという、まさに、背水の陣であった。

ただ前進あるのみである。後退すれば、のたれ死するだけである。

私は、闘う以外になかった。

私は、勇敢に、闘って闘って闘いぬいた。

その結果は、僅か五年で、理研コンツェルンの総帥大河内正敏博士に認められ、三顧の礼をもって本社に感光紙部長として迎えられることになったのである。

### 困難があなたを鍛える

ところが、異例の抜擢のために、全社員の嫉妬反感を買ってしまった。

「……お茶をもってきてくれ給え」

と、給仕に云っても、

「忙しいですから……」

と、断られる始末であった。

このとき程、苦しいことはなかった。

何度、辞めようと思ったか知れない……が、私は苦しくても、安易な妥協はしなかった。

かたくななまでに、自分の信念を貫いたのである。

一時は満身創痍になってしまったが、私はペソをかいたり、ひるんだりはしなかった。

(……朝の来ない夜はない。)

この西欧の詩人の言葉が、どんなに私を励ましてくれたことだろう。

私は、頑張り通した。

この間、私は、人生の本当の勉強をすることができた。

今にして思うと、三十代のあの苦闘が、今日の私の基礎になっているのである。

不知不識の中に、運命は、私を鍛えてくれたのである。

孟子の一節に「天の重任をこの人に降さんとするや、まず彼の心志を苦しめ、体膚を勞せしむ」というのがあるが、私は真理であると思う。

困難に体当たりして、はじめて鍛えられるのである。私は、受難礼讃論者ではないが、苦難に直面して、人間が磨かれるのはたしかである。

三十代の諸君よ。

重ねて申し上げたい。安易な妥協はしないでいただきたい。

あなたの信ずるところに邁進していただきたい。

転んだら、起きればいいではないか。躓けば、ふたたび起き上げばいいではないか。

三十代は、人生の基礎工事期間なのである。

この十年間で、あなたの運命は決定されるのである。

だから、どういう小さなことにも、真剣にとり組んでいただきたい。

かりそめにも、要領よく世渡りしようなどという了簡はすてていただきたい。絶対に、小利巧になってもらいたくない。

ある意味では、愚直でさえあってもいい。

ともあれ、仕事に、全身で体当たりしていただきたいのである。

命がけの真剣さをもってすれば、あなたは必ず人生の勝利者となるであろう。